

令和5年度 学力向上推進計画

伊江幼稚園

1 目標

一人ひとりが自己発揮し、友達の良さに気づき、認め合える学級づくりを目指して
～色々な人との交流活動をとおして～

2 昨年度の課題

- ① 日々の生活の中で学期や行事ごとに子どもが親しみやすい目標を設定。
- ② 基本的な生活習慣の確立は、くり返し意義を伝えながら家庭との連携を継続し取り組む。
- ③ 職員同士の連携は充実しているが、共通理解、実践を確かなものにするための定期的ミーティングを開催。
- ④ 地域人材を活用し、地域社会とのつながり。
- ⑤ 園内外にある植物や生き物への興味関心が高まるよう掲示教育の充実。
- ⑥ 相手の思いを受け入れたり、自分の思いを伝えたりすることができる丁寧な仲立ち。

3 研究仮説について

- ①色々な人との交流活動を通して、周囲の人々に温かく見守られていることやありのままの姿を認められている事を感じられるだろう。
- ②保育活動や園行事等を通して、色々な人々から認められる事が自信につながり、この自信を基盤として人と関わる力が育ち、友達の良さも認めるようになるだろう。

4 研究の内容

1 主題について

(1) 色々な人とは

- ・園内外の異年齢の子どもや地域の方々に思ったことを自分なりに表現できる関係。

(2) 認め合える学級とは

- ・素直に「ありがとう。」「ごめんなさい。」が言える、仲良く遊ぶ、美しいものや自然に感動し、相手を受け入れようとする心が育つ学級。

2 交流活動のよさについて

- ・園での友達、異年齢交流（保育所児や小学生）、教師や保育補助、小学校職員、保護者、地域の方々、高齢者、園外保育で関わる人々

- (1) 園では味わえない様々な感動体験をすることができる。
- (2) 交流によって、親しみの気持ちやかかわる楽しさ、人の役に立つ喜びなどを味わえる。
- (3) 人とかかわりで、思いやりややさしさ、心豊かな子が育つ。

3 環境構成の工夫

- (1) 幼稚園、小学校、保育所、地域、保護者との連携した豊かな体験ができるように工夫する。
- (2) 方言や英語を取り入れた言語活動やフロアリズムなど、年間を通じた表現活動を実践する。導計画への位置付けを考える。

5 具体的な取り組み

(1) 確かな学力の向上

幼稚園の生活の中で



やりたいことの表出



試行錯誤や繰り返し練習
に取り組む姿



自分のやりたいことを披露、自己実現・自己発揮し自己肯定感が高まった学習発表会







同じ目標を持った仲間と一緒に取り組み、誕生会で披露し小さな達成感を積み重ねる



(2) 豊かな心の育成



① 様々な人との交流

～様々な人とのかわわりを通して自己の存在を感じ、その人を大切に思う気持ちを育てる～

活 動	体験から学んだこと
  <p data-bbox="209 1753 730 1809">一日体験入学と一日体験入園のふれあい</p>	<p data-bbox="783 1541 1426 2024"> ○不安や緊張に寄り添ってもらう安心感。 ○優しく導いてくれる頼もしさやかっこよさに憧れる。 ○体験入学での体験を生かし、いたわる気持ちや優しくしてあげたいという思い。 ○幼稚園を楽しみたい気持ちにこたえたい思い。 ○自分たちは地域の人達から大切にされている有用感。 ○地域の人達を敬い、慕う気持ち。 ○交通ルールを守る規範意識の芽生え。 ○握手・目を見てのコミュニケーションを通して優しさに触れ、感謝する気持ち。 </p>
  <p data-bbox="336 1957 730 2002">老人会お守り贈呈式とミニデイ</p>	

②家庭と連携した取り組み

～保護者参加の活動～

保護者参加による行事	活動からみえる幼児の育ち
<p>保護者による読み聞かせ</p> 	<p>○友達のお父さんお母さんの言葉の優しさ、心地良さに触れ、物語の世界を楽しむ。</p> <p>○自分の親がきてくれることで家族の愛情を感じ、家族を大切にしようとする（自尊心が高まる）。</p> <p>○絵本を通して四季の移ろいや行事が分かり、イメージを膨らませ言葉を習得していく。</p>
<p>誕生会（保育参観）</p>  <p>家族からのメッセージを読んでもらう</p>	<p>○保護者が園行事に参加する事で、折にふれ、子どもが家族の気持ちや愛情を感じる事ができる。</p> <p>○家族へ感謝の気持ちをもつ事で、自分も家族を大切にしようという気持ちをもてるようになる。</p> <p>○自分や友達の司会やあいさつ、出し物等頑張った取り組みの成果を喜んでくれることでの満足感や幸福感、自己肯定感の高まり。</p>

年間絵本貸し出し状況

クラス	貸出冊数合計		貸出平均冊数		
	男	女	クラス男平均	クラス女平均	クラス平均
ひまわり組	2357	2147	261.8	214.7	155.3
ゆり組	2168	1844	271.0	263.4	267.4
合計	4525	3991	266.1	234.7	354.8

《絵本貸し出しの成果》

- きょうだいも一緒に読み聞かせを楽しみ。家族のコミュニケーションツールとなっている。
- 小さめの絵本や文字数の少ない、拾い読みのできる絵本を導入した結果、自分で読もうとする子が増えた。
- 絵本が好きになり、食後の時間や朝に集中して楽しむ姿がある。
- 面白かった本は「これ面白いよ」と友達にすすめる姿がある。
- 虫や身近なことを図鑑や絵本で調べて理解しようとする姿がみられる。

《課題》

- 忙しくて読めなかった子、絵本忘れた子は絵本に触れる機会が少なく、読むこと読まない子の格差が激しい。
- 絵本が重いから借りたくない、という子がいる。
- 家庭でのスマホやタブレットを使う時間が多くなり、絵本離れする傾向が多くみられる。

(3) 健やかな体の育成

① 規則正しい生活、食育・健康管理

☆日々の生活を家庭と連携し、季節の野菜を育て目の前で料理し食べる食育、健診などをして自分の健康な体へ関心をもつ。



② 体を使った遊び

☆日常的な運動遊びを通じた体力作り、総合体育館でのフロア・アクアリズム等決まりを守りながら集団で体を動かす活動。



③ 家庭との連携

☆家庭と連携し「早寝 早起き 朝ご飯」の推奨。運動会や親子フロアリズム、親子レク等への参加協力での活動。月に1回の家庭弁当持参での協力。

〈具体的取り組みの結果と課題〉

成果

- いろいろな思いを体験して行く中で、相手の気持ちに気付いたり受け入れたりすることができるようになる。
- 様々な体験をもとに自己肯定感が高まり、情緒が安定し落ち着いて遊びや生活に取り組めるようになった。
- 失敗してもいいんだ、とチャレンジする心が育ちつつある。
- 友達を認め共に成長を喜び、失敗を励ます良い関係性が育った。
- 誕生会や自分の意見を発表する場を通して自分の気持ちを言葉で表現しようとする姿が見られるようになる。

課題

- 基本的生活の確立は家庭と連携しながら継続して取り組む必要がある。
- 地域人材の活用し、伊江島特有の郷土色豊かな環境での保育に取り組む。
- 引き続き子どもの共通理解と保育環境の見直しができる定期的なミーティングの開催。
- 屋内にこもりがちな子どもの発達を見取りながら園庭での運動遊びを充実させる。
- 保育者の若年化による方言や遊びなどのスキルアップが必要である。